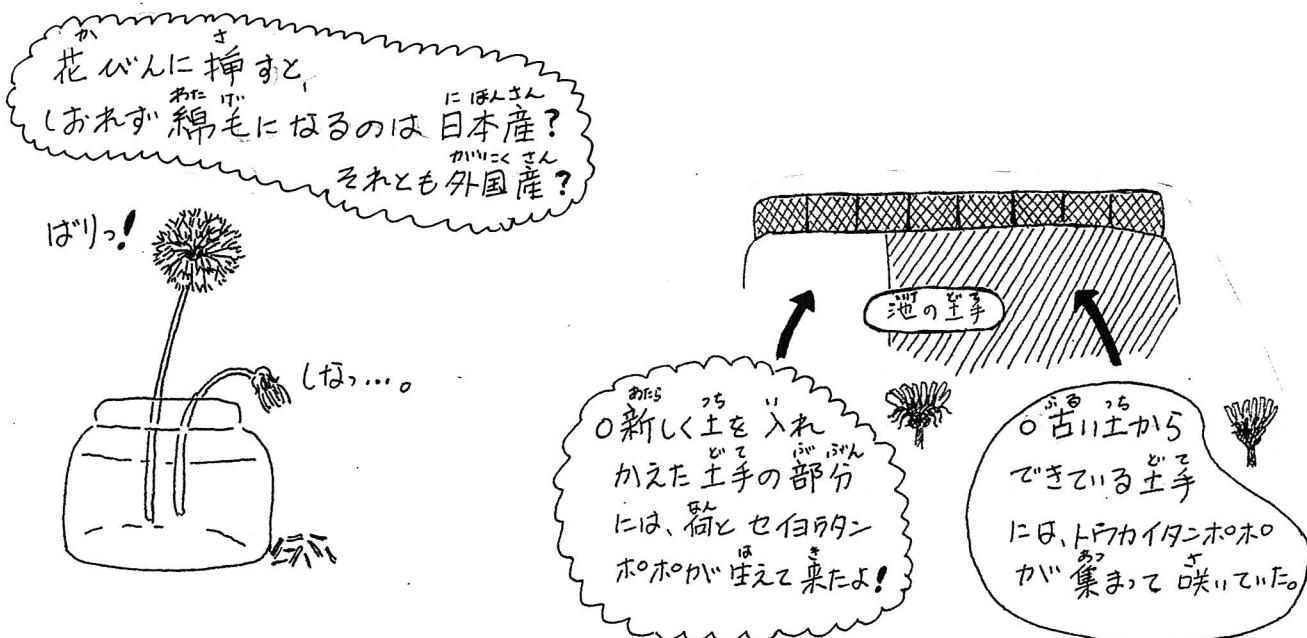
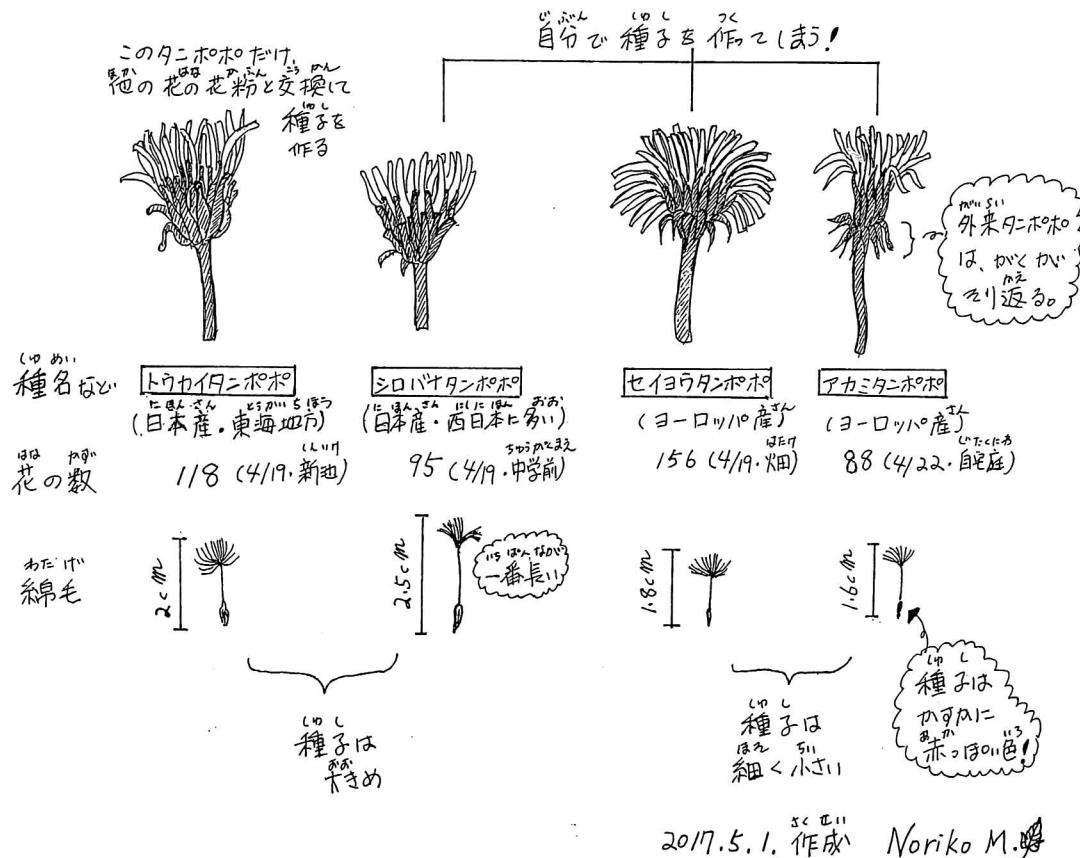
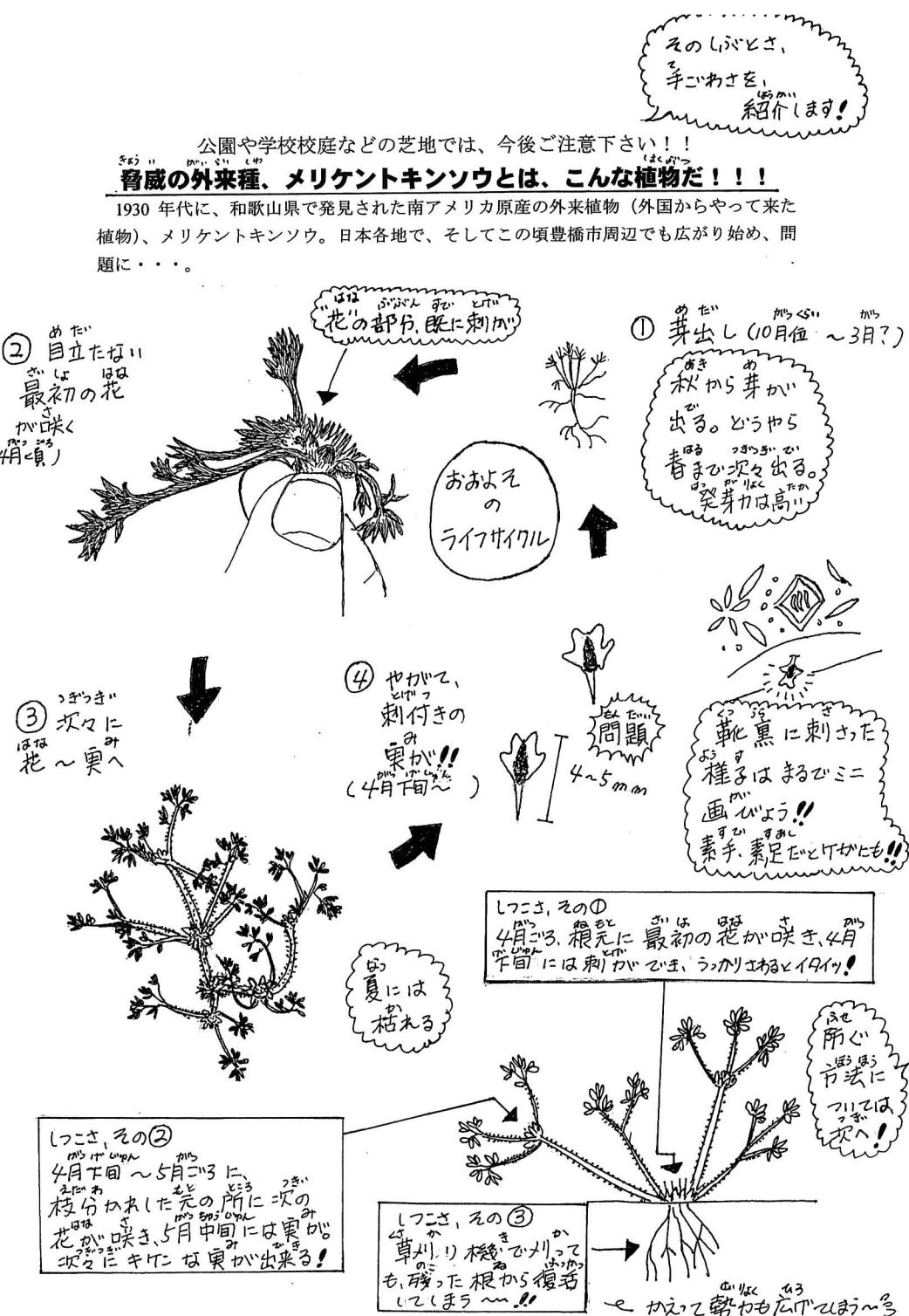


豊橋公園図鑑 2019 No. 2 NPO法人東三河自然観察会

豊橋公園タンポポの陣～日本産タンポポVS外国産タンポポ





*検索すると、色々なホームページで見る事が出来ます！

~各地で出没しつつあるメリケントキンソウとの今後のお付き合いの仕方~

出てきて欲しくないのが一番ですが、状況からして、いつ、身近な公園や校庭などに出ててもおかしくないメリケントキンソウ。出てしまった場合は、これ以上影響が広がらないよう、以下のような対策が挙げられます。但し、決定打がないのが現状とのことです。

- ・出てきたばかりなら、何よりも早めに抜き取などの駆除が一番です！！ ビニール袋つかぶらす
3～4月までが、手などで抜き取るのには、一番適した時期になります。魚の中骨抜きや草抜き用の器具が効果的です。
- ※根元から抜くのか 10cm 100均で買える!
一番!
- ・5月になると、中心部の棘付きの実は完熟し、固くなり出していて危険な状態です。不用意に近づかないことをお奨めする声もあります。
- ・うっかり素手や素足で生息場所での実に触ると、棘が刺さって怪我になる恐れがあります！！ 自転車のタイヤがパンクすると言う話もあり！！ イメージ
- ・棘付き実は、知らず知らず靴裏や、自転車や車のタイヤなどに刺さって付き、移動して運ばれることで生息地を拡げてしまいます。生息場所を歩いたら、まずは靴裏チェック。刺さった実はピンセットで抜き取りましょう。
- ・繁殖力が凄まじいので、何らかの駆除を。実が熟さない秋～4月までは、手動での抜き取り駆除を。5月以降、またはあまりにも広範囲・高密度で手に負えない場合、除草剤の使用が考えられます。その際は、他の植物や生物に無害（とされている）の天然成分由来の除草剤の使用が望ましいです。（*クエン酸を主成分としたものがあるらしいです）
早めの対処なら根絶可能。そうでない場合は何度も渡ってこまめな対処になりそうです。
- ※草刈り木綿は、その後去分布を広げてしまうそうです。
- ・地面が露出した芝地のある公園・学校の校庭は、発生の恐れがあるのでご注意下さい！

~これまでのメリケントキンソウ出没地~ <新城市> 善后園地

<豊川市> 三上運動公園、千両小学校→2017年度、学校の保護者さん達が、数回にわたる抜き取り活動を行い、夫方食い止められた模様です！→苦闘中！ 東三河ふるさと公園、赤塙公園
<豊橋市> 賀茂神社、市街地サンヨネ付近植え込み（抜き取り）、豊橋公園、豊橋市動植物総合公園、桜ヶ丘高校、桜ヶ丘公園、植田町蛤沢公園と憩いの場
<田原市> 伊良湖さらパーカー、伊良湖遊歩道途中の芝地→秋の観察会実施中に抜き取りを行ったものの、復活していました。

（情報先：瀧崎吉伸さん、中西普佐子さん、牧野紀子）

問い合わせ先：豊橋市環境部環境保全課（0532）51-2390

メリケントキンソウはじめ、危険たり、元の生物を背やかしてしまって外に放したり、広げたりしないようにしましょう。